地域のみな様と、私たちをむすぶ広報誌



✓ 京都中部総合医療センター

Kyoto Chubu Medical Center



CONTENTS

■院長挨拶	.1
■赴任医師のご挨拶	. 2
■	.(4)

■登録医療機関紹介リーフレット	\4
表紙の写真 看護学校卒業式	4

1) 在	日を	SCI.	>-	۲.,	

- ■京都中部総合医療センター看護専門学校 …………………………………………

■分娩室が変わりました………<
 ⑨

- ■院内保育所「たんぽぽ」の紹介 ………9
- ■「医薬品副作用被害救済制度」を
- ■京都中部総合医療センターの 救急医療体制10

地域医療支援病院 臨床研修指定病院 救急告示病院 日本医療機能評価機構認定病院 地域がん診療病院 第二種感染症指定医療機関 地域周産期母子医療センター へき地医療拠点病院 京都府地域リハビリテーション支援センター 京都府災害拠点病院(地域災害医療センター) DMAT指定医療機関 認知症疾患医療センター エイズ拠点病院 京都府難病医療協力病院

京都中部総合医療センター

〒629-0197 京都府南丹市八木町八木上野25番地 TEL 0771-42-2510代 FAX 0771-42-2096 https://www.kyoto-chubumedc.or.jp





京都中部総合医療センター広報誌

2021.4 Vol.49 春号

病院の理念

地域の拠点病院として、患者さん中心の良質な医療を行い、地域に愛され信頼される病院を目指す。

病院の基本方針

- 1. 常に患者さんの立場にたち、 権利を尊重して医療を行いま す。
- 2. 地域医療支援病院として地域 の医療、介護や福祉等との連 携を推進します。
- 3. 救急医療体制を充実し、いつ でも安心して受けられる医療を 目指します。
- 4. 集学的医療の提供を推進し、 地域で完結できる高度ながん 医療を行います。
- 5.チーム医療を強化し、医療の質や安全性の向上のため、全ての職員が資質の向上に努めます。
- 6. 公営企業としての役割を果たす ため、経営の効率を高め、健 全な経営に努めます。

患者さんの権利と責務

私たちは患者さんの権利を尊重 し、十分な説明と合意に基づい た医療を行います。

- 1. 説明を受ける権利
- 2. 治療を選択する権利
- 3.情報を知る権利
- 4. 個人情報の保護を受ける権利
- 5. 自分の健康情報を正確に提供 する責務
- 6. 説明を理解するまで問う責務
- 7. 病院での規則に従う責務

院長挨拶

コロナ禍での春に

芳しい梅の香の季節が過ぎ、今年もまた桜の花が 満開に咲き誇る春が訪れました。新型コロナウイルス の感染拡大から1年が経過しました。昨年3月の感染 拡大の第1波から第3波の今日に至るまで、医療現場 の最前線でご尽力いただきました医療従事者の皆さ まに対しまして、心から敬意と感謝の意を表したいと 思います。

爽やかな季節となり、第3波の新規感染者数は減少に転じて病院も少しずつ落ち着きを見せております。 しかし、関西圏では2月末で緊急事態宣言が解除され、行楽の季節にともなう都市部や観光地での人出 院長一一一



増加による感染者数のリバウンドも懸念されています。日本でもワクチンの供給がようやくスタートし、医療従事者への接種が開始されました。ワクチン接種にはワクチンの安定供給、住民の皆さまへの円滑な接種体制、そして副反応への適切な対応が必要であります。病院と医師会など関係団体が緊密に連携・協力して実施していくことが求められます。

2月19日には京都府庁において、京都府、市町村会などの行政と医師会、病院協会、看護協会などの9団体が「ワクチン接種の円滑な実施に関する協定書」に署名をしました。私も京都府病院協会会長としてワクチン接種協定書に署名をさせていただきました。まだしばらくは続くであろうWithコロナ時代ですが、ワクチン接種を促進するとともに変異株の流行などを含めて、引き続き感染拡大への注意を怠らない我慢の日々が必要かと考えています。

さて、4月より新年度が始まり、71人もの新しい仲間達を迎えました。医師部門では総合 内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、小児科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、 耳鼻咽喉科、眼科、歯科・口腔外科の一部メンバーが変わり、麻酔科はスタッフが増え、さ らに診療が一層充実することと期待しています。医師以外にも4月から勤務いただける職 員の皆さまには心からの歓迎と今後のご活躍を期待しています。

また、小倉 草学校長がご紹介されていますように、公立南丹看護専門学校が4月より京都中部総合医療センター看護専門学校に学校名を変更されます。これまで長い歴史の中でこの医療圏を中心に優秀な看護師を多数輩出し、地域の医療・福祉に多大な貢献をしてきた看護学校ですが、教員の指導体制を充実させてコロナ禍でのICT(情報通信技術)化を促進し、さらに京都中部総合医療センターとの連携を緊密なものとして、今後も優秀な看護師育成にご尽力いただくことを願っています。

京都中部総合医療センターは地域医療支援病院としての責任と自覚を持ち、With コロナ時代においても最適な医療を住民の皆さまに提供するため、職員一丸となって頑張りますので、今後とも皆さまのご協力とご支援を賜りますようどうか宜しくお願い致します。1日も早く新型コロナウイルスによる感染症が終息し、地域の皆さまが元通りの安心し

た日々の生活を取り戻されることを願ってやみません。 今年も皆さまの春がさわやかで心温かなものでありますようにお祈りしております。



新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種の円滑な実施に関する協定締結式

赴任医師のご挨拶

呼吸器内科

医員 廣瀬 和紀(平成26年卒)

昨年度まで京都第二赤十字病院に勤務しておりました。昨年から流行したCOVID-19もなか収束に向かっておらず、今後もCOVID-19ありでの診療をしなければならない状況が続くと思いますが、少しでも皆様の不安を取り除き、安全で丁寧な



診療を心掛けて地域医療に貢献したいと思います。一生懸 命頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

えがみ まさし 医員 江上 正史 (平成31年卒)

京都中部総合医療センター、京都府立医科大学附属病院での初期研修を経て、再び当院に赴任することとなりました。まだ未熟者ではございますが、患者さん目線のわかりやすい診療をモットーに、南丹医療圏の数を手に最適な医療を届けるため、日々奮闘してまいります。どうぞ宜しくお願い致します。



総合内科

医員 服部 雄 (平成30年卒)

福井県立病院で研修の後、昨年度は京都府立医科大学に勤務していました。卒後4年目で、今年度は当院で総合内科に勤務させていただくことになりました。まだまだ未熟な部分が多くご迷惑をおかけすることが多いと存じますが、南丹医療圏の医



療に少しでもお役に立てる様、精一杯頑張っていきたいと 思っていますので何卒宜しくお願い致します。

腎臓内科

医員 松本 瞳 (平成31年卒)

京都中部総合医療センターに て2年間の初期研修を修了し、3 年目も引き続き働かせていただ くこととなりました。

未熟者ですので多々ご迷惑を おかけするかと存じますが、研 修医時代からのご恩をお返し出 来るよう、南丹地域の医療を守



る一員として精一杯努めて参ります。どうぞ宜しくお願い 致します。

消化器内科

医員 松村 晋矢(平成23年卒)

京都第一赤十字病院で消化器 内科医として勤務し、この4年 間は京都府立医科大学の大学院 に在籍しておりました。地元で ある南丹市の医療に携われる事 に喜びを感じております。内視 鏡による診断・治療を専門に勉 強して参りましたが、これから



はより広い視野で貢献できるよう、誠心誠意勤めさせてい ただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

整形外科

医員 大友 彩加 (平成28年卒)

患者様一人ひとりに対し真摯に向き合い、ニーズに応じた医療を提供することを心がけています。子どもから大人まで幅広く、当地域の医療に貢献できるよう努力してまいります。至らぬ点もあるかと存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。



たけうら のぶあき 医員 **竹浦 信明** (平成28年卒)

整形外科医となってからは京都府立医科大学附属病院と京都第一赤十字病院に勤務してきました。患者様の痛みをできるだけ軽減し、健康な生活を送って頂けるよう一生懸命頑張のて変りたいと思います。至らことが多くご迷惑をお掛けするとがあるかと思いますが、よどうぞ宜しくお願い致します。



産婦人科

医員 太田 早希 (平成30年卒)

京都第二赤十字病院で初期研修を終えた後、京都府立医科大学附属病院で産婦人科専攻医として1年間勤務しておりました。 医師としても産婦人科としてもまだまだ知識・経験不足で日々勉強中です。不慣れなことも多く、大変ご迷惑をおかけするか



と思いますが、地域の皆様1人ひとりに寄り添って、心のこもった診療を心掛けますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

小児科

医長 金田 大介 (平成20年卒)



医員 **青井 輝希** (平成26年卒)

自治医科大学を卒業後、初期 研修を綾部市立病院で行い、そ の後は小児科医として舞鶴矢 たなター、京丹後市立久学 疾病院、京都府立医科大学した。 属病院に勤務しておりまる。 地域の未来そのものである精進 ともがです、どうぞよろしく お願いいたします。



医員 河瀬 泉 (平成29年卒)

京都府立医科大学卒業後、京京都府立医科大学卒業後、京京第一赤十字病院、京都務ににている。 医科大学附属病院にけけること。 でご迷惑をおかけすることしていますが、ようには思いますが、ようにぞいますので、どうぞしてがますので、どうがよりますので、どうがいたします。



医員 平山 **圭** (平成30年卒)

近江八幡市立総合医療学で、 を科を各人を終すると、 を大終での初期研修をといる。 をとして、でのかり、 ののかり、 ののかり、 ののかり、 ののかり、 ののかり、 ののではいった。 ののではい。 ののではい。 ののではい。 ののではい。 ののではい。 ののではい。 ののでは、 の



泌尿器科

た。 か とう みねゆき 医長 加藤 峰之 (平成21年卒)



耳鼻咽喉科

たかばたけ れ な 医員 **髙畠 伶奈** (平成28年卒)



麻酔科

医員 竹下 秀祐 (平成23年卒)

昨年度まで京都府立医科大学 附属病院で大学院生としてった。 で大学院生ともれてった。 がました。研修医以来を おりました。研修医以来療 に京都中部総合のたた。 年ぶりに赴任させていたしまり、 たを をとなり、大変嬉し貢献で こととなり、 ます。 南丹医療圏に貢献で、 るよう精進いたしますので、 ろしくお願い申し上げます。



眼 科

医員 富永 千晶 (平成31年卒)



歯科・口腔外科

医員 藤田 桂子 (令和2年卒)

私は京都府北部の出身であり 地域医療に貢献させていただき たいという思いがありました。 南丹医療圏で診療させていただ けることをうれしく思います。 まだまだ未熟で至らない点も 多々ありますが、どうぞよろし くお願い致します。



登録医療機関紹介リーフレット

地域医療連携室 辻田 静香

正面玄関近くの待合ホールに当院の登録医制度にご登録いただいている地域の医療機関のリーフレットを設置しております。令和3年3月で、当院の登録医制度には南丹医療圏の112の医療機関、130名の先生方にご登録いただいており、患者さんに身近な地域で切れ目のない医療が提供できるよう連携の充実を図っています。

当院では、患者さんに日頃の診療や健康管理をしていただくことができる「かかりつけ

医」をお持ちいただくことをお願い しています。検査やより専門的な治療が必要な場合、かかりつけ医から ご紹介いただくことで、スムーズに 診察を受けていただくことが出来ま す。

リーフレットには、かかりつけ医をお探しいただいたり、身近な地域の医療機関を知っていただけるよう診療時間や電話番号、地図などを掲載しておりますので、ぜひご活用下さい。



表紙の写真 看護学校卒業式

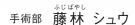
副教務主任 脇坂 智子



あいにくの雨模様でしたが、多くの方のご協力をいただき、令和3年3月5日に卒業式を迎えることができた事を本当に感謝しています。昨年度はコロナ禍のため学生は実習の替わりにDVDやオンラインでの学習を余儀なくされました。その分実習が再開できた時には、患者さんを通して理解できたことの充実感は大きかった様です。卒業生は4月から医療従事者として歩んでいきます。引き続き皆様のご指導のほど、宜しくお願いします。

2年目を迎えて

看護師





手術室に配属となり、この1年で多くの手術に携わることができ充実した日々を送ることができました。各科の多種多様な手術器械を覚え、勉強の毎日でした。入職当初、手術室看護師は医師の横に立ち、指示された器械を渡すイメージでした。しかし、器械を医師に渡すのはもちろん術式に合わせた器械を準備したり、手術前から患者さんの状態や体型を考慮して予測し対応する幅広いものだと感じました。

手術を受ける患者さんが自分の家族だと思い、1症例ごとに目標を持ち、ベストを尽くそうと自分の心も準備することが大切であると思いました。これからも知識・技術・思いやりを兼ね備えた看護を目標に精進していきます。

第一病棟4階 濵田 晴菜



看護とは何かはっきりわからず、今後広がる看護の世界に期待を膨らませ緊張と共に入職し1年が経ちました。先輩方の優しく、時には厳しい指導により患者さんに出来る事が増えてきたので嬉しく思う反面、日々の慣れない業務に悩むことも多々あります。忙しさに負けず、患者さん一人ひとりに向き合って個別性のある看護を実践することが重要だと思います。看護は一生勉強と言うように、今後も学びを生かし自己の看護力が向上出来るよう頑張りたいと思います。

薬剤師

人見 志保里

入職してから1年が経ち、調剤業務・病棟業務・当直業務と様々な業務を経験しました。調剤業務では、お薬の飲み合わせや投与量などの確認、当直業務では、調剤・監査・他職種のスタッフからの電話対応などをすべて1人で行わなければならず、未だに緊張が抜けることはありません。病棟業務では、患者さんのお薬をすべて把握する必要があり、新たに開始となる薬剤があれば、飲み合わせや服用後の症状の経過などの確認を行っています。患者さんから質問がある際には、しっかりと理解してもらえるよう説明し、安全で効果的な治療を継続していただけるよう努めています。働きだした当時は、初めてのことばかりで不安でいっぱいでしたが、先輩方に指導していただき、恵まれた環境の中で様々な経験が積めたことを嬉しく思います。



まだまだ至らない点も多いですが、患者さんに寄り添う気持ちを忘れず、信頼される薬剤師になれるよう励んでいきたいと思います。

研修医 2年目を迎えて

木村 恭輔

医師としての最初の1年間は、新型コロナウイルス感染症の影響により波乱の幕開けともいえるものであったように思います。患者さんとの接し方をはじめ、医療のあらゆる面がこれまでと根本的な変化を求められました。ただそのような中にありながらも、私たちは例年と遜色ない充実した環境で研修させていただけております。これも上級医の方々やスタッフの方々のご尽力、ご厚意のおかげであり、この病院を研修先に選んで良かったと日々感じております。まだまだ未熟ではありますが、少しでもこの地域に貢献できるよう、また将来良い医療人となれるよう精進して参りたいと思います。引き続き宜しくお願い致します。



阿部 秋子



4月で医師として、社会人として2年目を迎えました。入職したての頃は右も左も分からず、先輩や上級医の先生方、スタッフの方々、同期に助けてもらいながらあっという間に1年が経ちました。診療を行っていく中で成長を感じた部分もありますが、まだまだ反省する毎日です。これからは、医師3年目に向けての準備期間として、より一層責任感を持ちながら日々精進して参ります。ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、本年度も何卒宜しくお願い致します。

平島 温也

研修が始まって1年が経ちました。まだまだわからないことだらけで自分の不勉強と力不足を痛感する毎日ですが、少しずつ成長できているとも感じています。同期に恵まれ、スタッフの方々にも多大な迷惑をかけつつフォローしていただきながら、入職前に漠然と不安の中で想像していたイメージよりはるかに恵まれた環境での研修に巡り合えたと日々感謝しています。

4月からは、できるだけこの病院で研修させていただいているご恩に報いられるよう努力し、勉強していきたいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。



村田修一



早いもので研修2年目を迎えることとなりました。あっという間でしたが、充実した日々を過ごさせていただき感謝しております。当院での研修が始まった頃を思い出すと、当直のたびにストレスで腹痛になっていたことが、今は懐かしく思えます。まだまだ未熟で至らないことだらけではありますが、多くの方々に助けられながらも、自分なりに日々少しずつ成長できていると感じています。

4月からも研鑽を重ね、南丹医療圏に貢献できるよう頑張っていきます。個人的なことでは、昨年6月に娘が生まれたので、今は研修と育児と家事をどれも手を抜かずにやりきることを日々の目標としてがんばっています。

サ田 喜之

入職当初は右も左も分からずスタッフの方々や患者さんにも多大な迷惑をおかけしました。入職から1年が経過し、至らぬ点も依然多いですが、多少は職員としての動きが身についてきたかと思う今日この頃です。当院は地域の拠点病院として、多くの患者さんが来院されます。外科内科に関わらず、幅広い疾患を目にする機会に恵まれ、医療者としての経験を積ませて頂いております。まだまだ未熟な身ではありますが、地域の医療を支える一員として一日でも早く貢献できるよう、日々研鑽して参ります。



回復期リハビリテーション病棟の紹介

病棟師長 森﨑 春美

回復期リハビリテーション病棟は、日常生活動作能力の向上を図り、家庭復帰や社会復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行う病棟です。脳出血や脳梗塞などの脳血管疾患や、大腿骨・骨盤・脊椎・膝関節などの骨折後や人工関節置換術などの急性期治療を終えて状態が安定した方が対象となります。医師や看護師、介護士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、薬剤師、管理栄養士等の多職種で連携し、カンファレンスを重ねながら患者さんやご家族のご希望に添った目標に向かってサポートしていきます。

各診療科の急性期治療や手術の後には早期から急性期リハビリテーションを行い、その後の回復期への移行もスムーズにできます。当病棟に入院中に急性期疾患への治療の必要性が生じた際には、スムーズに専門科の治療を受けられ、落ち着かれたら再度回復期のリハビリテーションを再開していただくことが出来ます。

また、退院支援では、カンファレンスの開催や、退院後の介護サービス利用へ向けたご家族への説明、ケアマネジャーなど関係機関との連絡調整を行っています。自宅退院が困難な場合には、施設入所へ向けた手続きの説明や、入所へ向けて施設との調整などを行っています。また、病状により転院が必要となった場合は、他院への転院へ向けた調整も行っています。

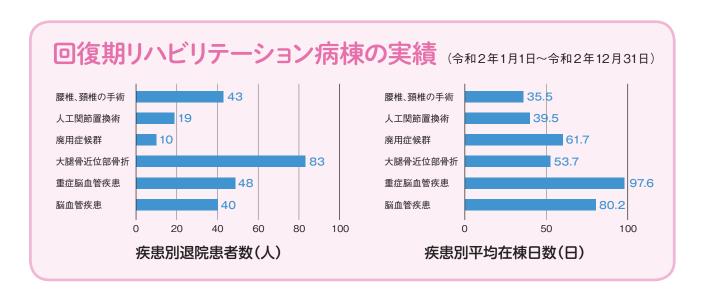


リハビリの様子



病棟カンファレンス

回復期リハビリテーションは、入院期間が長くご本人の意欲の維持のためにはご家族の支援が必要です。しかし新型コロナウイルス感染症対策のため、現在はご家族との面会を控えていただいており、ご心配をお掛けしておりますが、ご理解とご協力をお願いしているところです。リハビリや生活状況について、カンファレンス時にリハビリの動画を見ていただいたり、電話等で随時進捗状況や近況の報告を行っています。スタッフ一同、今後も信頼され安心を提供出来るよう努めてまいります。



京都中部総合医療センター看護専門学校

学校名変更によせて

学校長 小倉 卓



当校は、昭和15年に南丹病院付属看護婦学校として創設され、平成15年4月に3年過程へ変更し公立南丹看護専門学校となり、創設以来約1,850名の卒業生が巣立ちました。令和3年4月からは新しく教員の指導体制を整えて校名を京都中部総合医療センター看護専門学校に変更し、これまで以上に学校運営について隣接する京都中部総合医療センター(辰巳哲也院長)の多大なるご支援を賜り、地域医療に貢献する看護師を養成しています。

私は、学生に安全安心の教育環境、地域に開かれ地域とともに歩み愛される学校づくり、患者様に寄り添いキュアだけでなくケアのできる看護師の育成を基本理念としてICTによるオンライン、オンデマンドでの授業や図書室、視聴覚機器、情報処理機器など学びの場の整備、南丹市学生交流プロジェクトに積極的に参加し地域住民との交流を深めています。また、学生の健康管理は京都中部総合医療セ

ンターと連携して行い、心のケアも週1日精神保健福祉士によるカウンセリングを始めています。

21世紀の看護師に求められる役割は急性期だけでなく回復期、生活期医療と多岐にわたっており、習得しなければならない知識は質・量ともに高度かつ膨大なものとなっています。学校周辺には美山・かやぶきの里、るり渓、大堰川の桜並木など多くの緑豊かな自然があり勉学に集中できる恵まれた環境で、各学年ごとに必要な知識や看護技術を懇切丁寧に教えて心の優しい看護師を育てていきたいと思います。







本校では南丹市社会福祉協議会のご 支援をうけ、地域の皆様が元気に春を迎 えられることを願い昨年より2年生全員 で「みんなで一歩プロジェクト」に参加 させていただきました。地域の皆様に少 しでも貢献させていただき大変嬉しく思 います。今後もご支援をどうぞよろしく お願いいたします。

分娩室が変わりました

看護師長 松岡 美代子

今まで病棟の分娩室は、お産が近づいていよいよ、というときに入っていただき、それまでは陣痛室で過ごしていただいておりましたが、令和3年2月より、陣痛から分娩までを通して同じ部屋で過ごしていただくように分娩室を変更いたしました。隣のベッドの陣痛の方を気にせず、ゆったりと過ごしていただけます。これは新型コロナウイルス感染症対策でもあり、陣痛から分娩までの接触者をご家族に限定することで、出産の安楽と安全を兼ねた変更になります。

従来から当院は、地域周産期医療センターとしてお産の方や生まれてくる赤ちゃんの、安全なお産を守る努力をして 参りました。これからもそれは変わることなく、皆様が安心して当院でお産していただけるよう、努めてまいります。



分娩台の横にベッドを設置しました。



分娩台とはカーテンで仕切られています。

院内保育所「たんぽぽ」の紹介

主任保育士 川勝 真由

平成23年に開所した院内保育所たんぽぽも、この4月で11年目を迎えることになりました。開所から3年後には園舎を増築し、広くて過ごしやすいスペースが確保され、その年の11月には月に2回の夜間保育と土曜保育が始まりました。

『安心』『安全』『温かい人とのつながり』この3つの『あ』を大切にしながら、保護者が安心して仕事が出来、子どもたちが幸せに過ごせる保育所を目標に、日々進めています。

院内保育所の対象になっている0、1、2歳児の時期は、 心身の発達の基盤が形成される上で重要です。子どもの要求 に丁寧に応答することは、子ども自身の自由な探索行動の保 障につながり、特定の人への深い信頼が支えになります。ま



た様々な不安や不満を乗り越えるという繰り返しの経験が、その後他者への信頼感として根付いていきます。そして自分は大切にされているという感覚が、子どもの自信を育み豊かな人生を送るための基盤となる「自己肯定感」となっていきます。保育所での生活は子どもにとって初めて家族から離れ、一日のうちの長時間を保育士や同年齢の子どもたちと過ごす機会です。私たちはそんな子どもたちの大切な時期に、保護者と一緒に傍で成長を見守れることに幸せと責任を感じながら日々取り組んでいます。

昨年は新型コロナウイルスー色の1年でした。感染リスク回避のため、換気・手洗い・うがいの強化、園外活動の縮小、毎日の保育室や玩具の消毒、午睡時には出来るだけ子ども同士の間隔を空けるなど、3密を避けることが難しいと言われている保育所だからこそ、出来る限りの対策を行っています。また子どもの近くで寄り添う保育士も、より一層健康管理に努めています。今後もしばらくはウイズコロナの保育所運営が求められます。昨年は手探りなところもあった緊急対応でしたが、今年はそこで得た教訓を活かし、子どもたちが充実した保育所生活が送れるように、保育士一同、計画を練っていきたいと思っております。

「医薬品副作用被害救済制度」をご存じですか?

村山佳子 薬剤部 副部長

病院・診療所で処方されたお薬、薬局等で購入したお薬を正しく使用していても副作用が発生すること があります。入院治療が必要になるほどの健康被害を受けられた方に医療費や年金などが給付される法律 に基づく公的制度です。薬の副作用を怖れず安心して治療に向き合うためにお役立てください。

制度について一部抜粋して紹介します。なお救済制度の詳細については独立行政法人医薬品医療機器総 合機構(PMDA)にご相談ください

請求の方法は…

副作用による健康被害を受けたご本人や家族が、請求書に診断書などの必要な書類を添えて、PMDAに申請してい ただきます。

給付の支給決定は・・・

提出された書類をもとに、厚生労働省の薬事・食品衛生審議会で審議され、厚生労働大臣の判定結果をもとに PMDAにおいて支給の可否が決定されます。

教洛の対象とからかい場合

- ・医薬品の使用目的・方法が適正と認められない場合
- ・入院治療を要する程度ではなかった場合や請求期限が過ぎてしまっている場合
- ・対象除外医薬品による健康被害の場合(がんやその他の特殊疾病に使用される医薬品で厚生労働大臣の指定するもの)
- ・法的予防接種を受けたことによるものである場合

法的予防接種の場合は予防接種健康被害救済制度があります。任意の予防接種は給付対象となります。

- ・救命のためにやむを得ず通常の量を超えて医薬品を使用し、健康被害の発生があらかじめ認識されていた場合
- ・医薬品等の製造販売業者などに明らかに損害賠償責任がある場合

月~金(祝日・年末年始を除く)

●救済制度相談窓□ 0120-149-931 受付時間:午前9:00~午後5:00

●ホームページ http://www.pmda.go.jp/



京都中部総合医療センターの救急医療体制

当院では、24時間365日救急の患者さんを受け入れられるよう体制を 整備しております。京都府からは「救急告示病院」に指定され、二次救 急医療機関として救急隊からの要請にも日々対応しております。

南丹医療圏には三次救急に指定されている病院がありませんが、当院 では集中治療室を整備しており、第二病棟屋上のヘリポートではドク ターヘリの受け入れも行っております。冠動脈カテーテル治療や、急性

救急外来のお問い合わせ先 0771-42-2510(代) 24時間 365日対応

腹症に対する緊急消化管内視鏡処置・緊急開腹手術などには24時間対応できる高次救急機能を有し、二・五 次救急とも言うべき役割を担っています。

新型コロナウイルス感染症(以下コロナ)が猛威を振るう昨今、救急外来においても感染対策を徹底し て診療にあたっています。一般外来ではコロナのような症状がある患者さんには、場合によっては、PCR検

査や抗原検査を先に行い、結果が出るまでお待ちいただ いてから診察を行うことがあります。しかし救急でその ような時間的余裕のない患者さんに発熱などの症状があ る場合、コロナが否定できない限りはガウンや手袋など の個人防護具をはじめとした感染対策が欠かせません。 感染症患者に対する診療スキルはもちろん、防護具もた だ身につければ良いというわけではなく、装着や取り外 しには一定の手順があり習熟が必要です。発熱などはコ ロナ特有ではなく、むしろ様々な疾患で現れる症状であ るため、研修等を通して医療従事者のスキルアップを行 いながら、日々緊張感を持って対応しています。



かかりつけ医を持ちましょう

かかりつけ医とは···

普段の健康状態を把握していてくれるもっとも身近な「主治医」のことです。

具合が悪くなったり、困ったときにはいちばん に受診できる「かかりつけ医」を持ちましょう。





総合受付①窓口

- ●地域医療連携室/電話0771-42-5061(直通)
- ●受付時間/平日8:30~17:15(年末年始を除く)

看護師·助産師募集(正職員·臨時職員)

- ◆看護師寮利用できます。(正職員) 月額4,000円(税込)
 - *水道費込み
 - *冷暖房・キッチン・バス・トイレ完備

T629-0197

京都府南丹市八木町八木上野25番地 京都中部総合医療センター 総務課人事係

TEL 0771-42-2510(代)まで



詳しくはホームページをご覧ください。 🗖 🖯

https://www.kyoto-chubumedc.or.jp/nurse/



編集後記

暖かくなり過ごしやすい季節になりました。新年度を迎えられ、慌ただしくお過ごしの方もいらっしゃると思います。それに加え、日中との温度差、環境の変化で身体に負担がかかりやすく、ストレスが知らないうちに溜まりやすい時期です。3密を避けなけばならないなど様々な制約はある状況下ですが、栄養のあるものをバランスよく食べ、ほどよく運動し、休むところはしっかり休んで、身体を労り日々をお過ごしください。

広報委員会 H.N.

新型コロナウイルス感染症の影響で、広報誌執筆当時の病院や看護学校の運用、体制が現状と異なる場合がございますが、ご容赦ください。



発行:京都中部総合医療センター広報委員会